

会 議 録

会議の名称		平成２９年度第２回守谷市男女共同参画推進委員会		
開催日時		平成２９年１１月１４日（火） 開会：午前９時３０分　閉会：午前１１時４５分		
開催場所		守谷市役所３階　庁議室		
事務局（担当課）		生活経済部　市民協働推進課		
出席者	委　員	村田会長，井坂副会長，川名委員，大同委員，須賀委員， 赤井委員　　　　　計６名		
	市職員	松丸市長，坂部長，鈴木課長，石川課長補佐，大平係長， 川崎主事　　　　　　　　　計　６名		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	０人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		１　開　会 ２　会長あいさつ ３　市長あいさつ ４　議　題 （１）第三次守谷市男女共同参画推進計画（案）について ５　報告事項 （１）今後のスケジュールについて ６　その他 ７　閉会		

確定年月日	会議録署名
平成２９年１１月２４日	会　長　村田　昌

審 議 経 過

1 開会

事務局： 本委員会の会議録につきましては、発言者の氏名を記載することと決定しておりますので、本日の委員会会議録につきましても、発言者の氏名を記載いたしますことを御報告いたします。

また、本日の委員会は守谷市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、公開としましたが、傍聴希望者が無いことを報告いたします。

なお、本日の会議には、委員10名の内、6名が出席されておりますので、守谷市男女共同参画推進条例第20条第2項の規定によりまして、会議が成立することを報告いたします。

2 会長挨拶

3 市長挨拶

事務局：それでは以降については、守谷市男女共同参画推進条例第20条第1項の規定によりまして、村田会長に議事進行をお願いいたします。

5 議題

(1) 第三次守谷市男女共同参画推進計画(案)について

村田会長： 議題（1）の説明については、資料も多く、多岐にわたります。前回と同様に事務局の説明を最初から最後まで聞くのではなく、区切りのいいところ、前回の会議を踏まえて新たに提案する具体的な箇所と全体の概要の2つに分けて説明をお願いし、それに対して各委員から意見等を挙げていただく形式で委員会を進めることについて、委員の皆様はどう思われますか。

【一同異議なし】

村田会長： では、事務局から前回の会議での意見等を踏まえた、具体的な部分に関する説明をお願いします。

事務局： （資料1～3に基づき、体系図・成果指標を説明）

村田会長： 計画書の中に網羅されている部分ではありますが、前回議論した内

容を中心にピックアップして、事務局に説明いただきました。前回の会議で計画期間を10年に決定しましたので、かなり先の目標値となっています。目標値の設定も大変であったと思いますが、そこも含めて委員の皆様から何か御意見等はございますか。

川名委員： 発達段階に応じた適切な性教育の実施回数というところですが、現在1回程度のものを10年後には3回はやれるように段階的に進めていく、ということでした。目標値の設定の手法として現場と相談したのだと思います。もちろんそういった現場との調整は大切だとは思いますが、専門的な方と相談の上、年何回程度性教育が必要なのか、という観点から、目標値を設定し、その目標値が3回であれば、段階的ではなく、すぐにその目標値まで数値を上昇させよう、という考えで動くべきなのではと感じました。もちろん、教育の現場の状況もわかるかとは思いますが、そういった考え方もあると思いますので、意見として述べさせていただきます。

また、保育施設、待機児童については、市の方針として早いうちに達成しそうということでとても期待していますが、保育の質を上げることと希望する保育園に行けることが必要であると思います。「待機児童が0人だから安心」ではなく、各保育園が競って、子どもの獲得に動くくらい、守谷市の保育園事情が良くなることを期待します。

村田会長： ありがとうございます。この計画に携わる方々であれば、川名委員の想いは通じるものがあると思います。

その他に御意見等がある方はいらっしゃいますか。

井坂副会長： 成果指標Ⅲ-3-②、市役所の男性職員の育児休業の表現についてよろしいでしょうか。他の文章を見ても、「市職員」や「市女性職員」と記載されているので、ここも同様に「市男性職員」にした方がいいと思いました。

また、先ほど保育所について御意見がありましたが、やはり預ける保育所は居住地に近い、勤務地に近い、といった事は大事だと思うので、積極的に取り組んで欲しいです。

村田会長： 市男性職員については、入れるということで、事務局もよろしいですか。

事務局： 修正いたします。

村田会長： ありがとうございます。では、次の内容もありますので、皆様よろ

しいでしょうか。

【一同異議なし】

村田会長： それでは次の説明を事務局からお願いします。

事務局： 説明に先立ちまして、資料に関する訂正をお願いいたします。まず 1 つ目は、目次です。目次における第 4 章 基本計画のページ数が 24 となっていますが、25 の誤りです。2 つ目は 7 ページの 1 行目、「一般世帯数」に※印が記載されていますが、「一般世帯※」が正しくなります。巻末の用語集でも一般世帯という用語解説をしております。3 箇所目は 18 ページ、25 ページで使用されている語句についてです。「性別による固定的役割分担」や「固定的役割分担意識」など同様の趣旨の内容を複数の言葉で表現していますが、原則「固定的性別役割分担」に修正していきます。4 つ目として、47 ページから 49 ページについてです。単位の誤植や段落ずれがあったこと、そして 1 ページに小さく縮小した表のため字が小さすぎて見えないこと、などを理由に当日配布資料に差し替えていただきたいと思います。

それではこの計画案の変更点を御説明いたします。

今回の案は、これまで素案として提示した計画から 3 つの修正を加えています。

1 つ目は、巻末に添付する予定であった、男女共同参画に関する法律、条例、要綱をカットし、計画全体が分厚くならないようにいたしました。

なお、法律、条例はインターネットで公開されており、巻末に添付しなくても確認することはできます。

2 つ目は、15 ページの市民意識調査についてです。約 20 ページの市民意識調査の概要をこれまでは計画と一体としていましたが、計画全体のスリム化のために別冊といたします。

3 つ目は、47 ページから記載している数値一覧です。1 ページにまとめるととても小さくなってしまうため、レイアウトを工夫して記載いたします。

4 つ目は、西暦・和暦についてです。皆様御存知かと思いますが、和暦の年号が変更になる可能性があります。そのことを踏まえて、和暦の後にカッコ書きで西暦を記載しています。

最後になりますが、親しみのある計画となるよう、イラストを入れた方がよいという御意見を頂いておりますので、過去 3 年間程の男女共同参画絵てがみコンクールの入賞作品や、フリーイラスト、職員が作成したキャラクター等を挿入する予定です。

挿入予定箇所には「イラスト」と枠組みをしています。

計画全体のレイアウトとして、以上が変更点になりますので、皆様の御意見等をお願いいたします。

村田会長： 今、説明のあったことやこの計画案の中でその他の部分があれば、皆さんから御意見いただきたいと思います。

また、絵てがみの作品等を表紙にすることについて、いかがでしょうか。

赤井委員： イカのキャラクターはかわいいと思います。イラストがあると、次のページをめくるのが楽しくなると思います。

村田会長： ありがとうございます。絵てがみの作品には名前も入れる必要がありますか。

事務局： 絵てがみの作品は、名前を作品と一緒に記載するケース、記載しないケースが考えられます。

赤井委員： 小さい作品は、いろいろな箇所に、細かく掲載することはできますか。

事務局： レイアウトの関係で大きい余白や小さい余白がありますので、小さい箇所には個別に掲載することも可能だと思います。

村田会長： 空きスペースにイラストなどを入れていく。特に子どもが描いてくれた作品を掲載する、ということでよろしいですか。

【一同異議なし】

井坂副会長： 表紙に絵てがみの作者名を入れてしまうことは違和感があるので、巻末等で紹介する方が望ましいと思います。

村田会長： では、作品やイラストは挿入することとして、作者の名前は別紹介ということが望ましいということではよろしいでしょうか。

【一同異議なし】

村田会長： イラスト以外の点について、御意見等がありますか。

須賀委員： 体裁の部分についてですが、38 ページの市民活動の促進について、

資料と一部文言が異なると思います。資料 2 のほうが正しい，という考えでよろしいでしょうか。

事務局： はい，資料 2 が正しくなっています。御指摘ありがとうございます。修正いたします。

須賀委員： 10 年スパンの目標値について，我々のような委員会では毎年の目標値はあっても評価がしやすいのですが，計画に毎年の目標値を記載する必要があるのでしょうか。直近の目標値の計上だけでも良いのではないのでしょうか。また，和暦・西暦を併記すると，表の文字がとても小さくなってしまうので，西暦だけでもよろしいのではないのでしょうか。

大同委員： 計画期間が 10 年であるのであれば，10 年後の目標値は必要だと思います。10 年間は毎年目標値があるべきだと思います。ただ，長期にわたる目標なので，目標値と現状を比較，検証をして，場合によっては最終目標値を変えざるを得なくなってしまうかもしれません。民間では，そうやってローリング方式で数値の補正等をしていくという方式で数値目標等を管理しています。

また，和暦・西暦についてですが，私の会社では西暦に統一しました。しかし，これもその会社の文書規定等で決められていると思いますので，そこで和暦を使用することが決まっているのであれば，和暦を使用することは仕方ないと思います。また，官公庁は決まりか慣例としてなのかは分かりませんが，和暦で行くことになっていると思われるので，わかりやすくするための工夫としてできることは現状の併記することぐらいでしょうか。

井坂副会長： 計画の数値については，10 年計画なので 10 年後の数値まで出すべきかと思いました。また，表がかなり長くなってしまうのですが，現在値や 5 年後，10 年後を目立つようにレイアウトする，色を塗る等の工夫をすることはできると思います。

西暦・和暦については，規定に沿って文章を作るしかないと思います。

村田会長： 市の規定としては，和暦なのでしょうか。

事務局： 和暦を使用していますが，それが慣例なのか，規定に明記されているかは確認いたします。

村田会長： では、この問題は市の規定を原則として、事務局に調整してもらうことでよろしいですか。

【一同異議なし】

川名委員： ページの問題であれば、数値の一覧表だけは横で表示するなどの方法もあると思います。

事務局： 全体的に見やすい工夫をしていきたいと思っています。

村田会長： それでは皆様から頂いた意見で、調整するという事で、事務局に進めていただきましょう。
その他の御意見等はございますか。

須賀委員： 用語についてよろしいでしょうか。計画にでてくる「ハーモニーフライントいばらき」や「ライフステージ」という用語は広く知られている言葉ではないと思いますので、用語集に入れた方が良いのではないのでしょうか。

事務局： 担当をしていると県の事業である「ハーモニーフライントいばらき」等を用語集に載せるという発想に至りませんでした。御指摘のとおり広く知られている用語かどうかという観点であれば、巻末の用語集に記載する方が望ましいと思われますので、用語集に追加いたします。ありがとうございました。

村田会長： はい、それではその他の御意見等はございますか。

川名委員： 性と生殖に関する健康・権利でも議論されていると思いますが、女性と男性の体はやはり異なると思います。女性特有の更年期障害であったり、男女ともに起こる思春期特有の体の変化であったり、そういった性差を理解した上で、仕事も家庭生活も適切な分担をする必要があるのだと思います。ただ、男性も女性も等しく働く機会、働く時間を設けている、家事も等しく分けている、というので、平等になりましたと考えるのは少し違うのかと思います。男女の性差を理解し、認め合いながら補う関係が望ましいと思うので、そういった教育に力を入れて欲しいと感じました。

村田会長： それでは、見せ方の部分等について事務局に調整していただくということで、よろしいですね。

松丸市長から計画等について、何か御意見等はございますか。

松丸市長： それでは、委員の皆様伺ってみたいと思っていたことをですが、今、行政は男女共同参画推進計画を策定してはいます。しかし、私個人としては、「男女」というよりは、「個人」としての尊厳であったり、人権であったりする部分について、啓発していく必要があるのではないのかとも考えてしまいます。男だから、女だから、という部分ではなく、一個人の人権という部分に焦点を当てるべきではないかと。残念ながら、現在は国から努力義務ではありますが、「男女共同参画の計画を作りなさいよ」という流れになってはいますが、男女共同というよりももっと深い問題に取り組んだ方が良い、そういう時代になっているのではないかと感じております。

井坂副会長： これまでは一番身近な人権問題として男女というテーマが扱われてきたと思います。そして法整備等が進みました。しかし、それは形であり、形が先にできてしまったが故に、現実とねじれが生じて、生きにくい世の中になっているような気もしてしまいます。LGBTの方もいますが、外見だけでも男女というのは、社会に約半数ずつで、どの社会にも男女という2つの社会が存在します。多岐にわたる事業を実施している行政においても、男女は様々な課にも関係する分野であると思いますので、職員の皆様や市民の方が「男女」を意識できるようにならないといけない、そう思います。

松丸市長： ありがとうございます。多分野に関係するテーマであることは理解していますが、やはりこの計画を作るためにどうするか、と議論してしまう面があるのも事実です。様々な分野において、このテーマを念頭に事業等の実施をしていかなくはならないと感じています。

井坂副会長： また、資料に戻ってしまいますが、資料1の体系図では個別の計画まで一覧になっていますが、資料4の計画の体系図は、施策までしか掲載されていないので、具体的施策まで掲載して、市の具体的な事業等がどこに位置付けされているのかが分かるようなインデックスになるとより分かりやすいと思いました。

事務局： 資料4の25ページ以降に具体的施策の内容まで含めて記載はしていますが、全体像の把握のために資料4の体系図にどこまで掲載するか、レイアウト等を調整しながら考えていきたいと思います。

村田会長： では、次の報告事項を事務局からお願いします。

5 報告事項

(1) 今後のスケジュールについて

事務局： 前回会議からスケジュールは大きく変更していないので、資料はございません。

1点、再確認として、12月中に市民の皆様から御意見等をいただくためのパブリックコメントの手続きに入らせていただきます。

そこで御意見等を頂ければ、市として考え方を整理し、委員の皆様と最終的な回答を調整できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

村田会長： 12月にパブリックコメント、委員会はその後であるので、1月頃を予定ということですが、次回の日程を決めてしまいますか。

事務局： 次回の委員会は、パブリックコメントの件数によって、内部の調整に時間がかかってしまいますので、可能であればなるべく早い段階でお知らせはしますが、日程はパブリックコメントの状況と調整させていただければと思います。

村田会長： 先の話なので、見通しが立ってから日程の通知ということでしょうか。

【一同異議なし】

6 その他

村田会長： それではその他として御意見等はございますか。

【一同意見なし】

7 閉 会

村田会長： それでは本日の議事は全て終了しましたので、閉会とします。